

ネコちゃんのトイレの選び方



ネコちゃんが、トイレで下記の行動をすることはありますか？もし1つでも当てはまるようでしたら、ネコちゃんはそのトイレがあまり気に入っていないのかもしれない・・・

トイレ環境下でストレスがかかると、膀胱炎や尿石症など、泌尿器疾患を引き起こす可能性がとても高いです。

ネコちゃんにとって、トイレは本来リラックスする場所です。

ネコちゃんが安心して排泄出来るような、トイレ環境づくりをしていきましょう☆

こんな行動が見られたら要注意！トイレが気に入っていないのかも・・・

- 体の一部分しかトイレに入れていない（トイレの縁に足を掛けている、お尻しかトイレに入れていない）
- 猫砂ではなく、トイレの側面や縁、壁をカリカリとかく
- 排泄前に砂を掘らない・排泄後に砂をかけない
- トイレの滞在時間が短い
- 排泄後、トイレから走って逃げる
- トイレに近付くが、使用せずに立ち去る



ネコちゃんのトイレの基本

ネコちゃんはとてもキレイ好きなので、常にトイレは清潔に保ちましょう。

少なくとも1ヶ月に1回は、猫砂を全量交換し、トイレも洗いましょう。

また、トイレは複数置くようにします。1つのトイレが汚れていても、他にもキレイなトイレがある、という状態を作ってあげてください。

理想的なトイレの5つの条件



① トイレの数

トイレの数は、猫の頭数+1以上が理想です。ただし、トイレを隣接した場合は、1つのトイレと見なされます。

猫の頭数が多い場合には、猫を仲良しグループに分けて、グループ数+1以上置くようにしましょう。（一緒にくっついて寝ている子が、仲良しな子です！）

② 設置場所

生活の中心エリアから近い場所に置きましょう。食器や休息場所からは離します。

また、大きな音がする場所への設置は避けましょう。（洗濯機など）

夜に真っ暗になる場所は避けたり、暗い場所でもフットライトを付けてあげると、夜間でも排泄を我慢しないで、トイレに行きやすくなります。

理想的なトイレの5つの条件



③トイレの大きさ

ネコちゃんの体長の1.5倍以上の大きさのトイレを選びましょう。

本来、ネコちゃんの排泄は、砂の匂いを嗅ぐ→砂を掘る→排泄をする→砂をかける→ゆっくり立ち去る、が一連の流れとなります。この行動をするためには、トイレにそれなりの広さが必要となります。

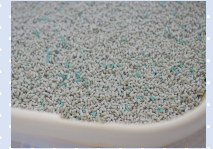
衣装ケースに砂を敷いて、それをトイレにするのもオススメです。

④トイレの形状

トイレの屋根（蓋）は無いほうが好ましいです。屋根付きトイレを使用する場合は、臭いがこもらないように、大きいトイレに大きい屋根のトイレを選びましょう。

トイレの深さは、砂を掘っても底が見えない深さのものにします。

高齢になると、関節炎などが原因で、高い段差を乗り越えることが難しくなります。その場合は、段差が浅いものを選んだり、段差が高いトイレでも、スロープをつけてあげることで、トイレに入りやすくなります。



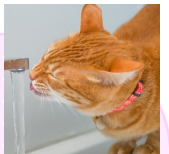
⑤猫砂の種類・量

砂は細かめで、よく固まるタイプを好むネコちゃんが多いようです。（自然の土に近い鉱物タイプの砂）ただし、ネコちゃんによって砂の好みは異なるため、ネコちゃんが好きな砂を見つけてあげてください。

また、砂を掘った際、底が見えないように、5cmほどの深さの砂を入れましょう。

おまけ☆

ネコちゃんの飲水量を増やすには・・・



ネコちゃんは元々飲水量が少ない動物。しかし、泌尿器疾患・腎臓病を抱えている子は特に、お水をたくさん飲むことが必要となります。健康な子も、病気の予防のために、ネコちゃんがお水をたくさん飲んでくれるよう、下記の方法を是非試してみてくださいね♪（飲水量の目安は、ネコちゃんの体重1kgにつき20～45mlです）

- 1.水が飲める場所を増やし、新鮮な水を置く。トイレからは離れた場所に置きましょう。
- 2.食器は清潔に、口が広くて浅い食器にする（ヒゲが器に当たらないようにする）
- 3.ネコちゃんの好みの食器の材質を探す。陶器・ステンレス・プラスチックなど。。
- 4.水に風味をつける（味付けをしていない、ささみのゆで汁・ごく薄めのかつおだしなど。食事制限がある場合には、獣医師にご相談下さい）
- 5.氷を水に浮かべたり、水道から流れる水を見せてみる（水道から直接飲むことも！）
- 6.ウェットフードを与える

